

[成果情報名] 令和 5 年度の森林病虫獣害の発生状況

[要 約] 山形県内において継続的または不定期に発生する病虫獣害について、被害拡大の可能性を見極め、県民・行政に適切に情報提供するため、被害発生状況を調査した。継続的被害では、松枯れが庄内海岸林で被害量が急激に増加し、ナラ枯れは村山地方と置賜地方で局地的被害が継続している。また、不定期に発生した病害虫は 9 種確認され、いずれの被害も立木の枯死等の兆候は認められないが、調査の継続が必要である。

[部 署] 山形県森林研究研修センター・森林生態保全部

[連絡先] 0237-84-4301

[成果区分] 指

[キーワード] 森林病虫獣害、被害状況、発生地域

[背景・ねらい]

森林病虫獣害の分布や被害量を毎年記録し、分析により拡大傾向を把握することは、被害対策を講じるうえで重要な情報となる。山形県内において継続的または不定期に発生する病虫獣害（クマハギ除く）について、被害拡大の可能性を見極め、県民・行政への適切な情報提供を行うため、全県的な被害状況調査を実施した。

[成果の内容・特徴]

- 1 継続的被害（マツ材線虫病（以下、松枯れ）、ブナ科樹木萎凋病（以下、ナラ枯れ）、カツラマルカイガラムシ集団葉枯れ（以下、カツラマル葉枯れ））について、タッチパネル式 GPS を用いて、被害木の本数や被害発生位置について、全県的に調査した。各総合支庁で収集したデータを可視化し、山形県森林クラウドに掲載した（図 1）。
- 2 今年度の松枯れ被害は、庄内海岸クロマツ林で急増し被害材積が前年比（R4：15 千 m^3 →R5：28 千 m^3 ）約 1.9 倍となった。これは、夏に平年値を大きく超える高温が続き、降水量は極端に少なく（図 2）、保水性の低い砂丘クロマツ林の樹勢が弱まり、活発化したカミキリとセンチュウの影響を強く受けたものと推察される。村山地方では被害材積（R4：1.0 千 m^3 →R5：1.1 千 m^3 ）はほぼ横ばい、置賜地方は（R4：0.9 千 m^3 →R5：0.3 千 m^3 ）減少傾向にある。R5 データ 12 月末暫定値である。
ナラ枯れ被害は、全県の被害本数が 1,649 本であり、うち西村山地域（R4：1,503 本→R5：754 本）で減少傾向、米沢市（R4：386 本→R5：702 本）で減少傾向が続いていたが今年増加した。いずれも局地的な被害が継続している状況である。カツラマル被害は、全県での実損面積がわずか 0.02ha でありほぼ終息しつつある。R5 調査データは 12 月末暫定値である。
- 3 不定期に発生した病害虫被害は、当センターの独自調査と各総合支庁からの報告、専門家等関係者からの情報により発生状況をまとめた。その結果、クリタマバチ（16 市町）、ハンノキハムシとアメリカシロヒトリ（11 市町村）、アカアシノミゾウムシ（8 市町村）、マイマイガ（7 市町）など 9 種の被害が確認され（表 1、写真 1）、クリタマバチ被害が最も多くの市町村で確認された。この昆虫は体長約 2.5mm、クリの腋芽に産卵して虫えいを作り、虫えい内で孵化した幼虫が腋芽内部を加害、結実を妨げ激害になる場合もあるので、今後の動向を注視する必要がある。

[成果の活用面・留意点]

- 1 令和 5 年度の森林病虫獣害の発生状況は森林研究研修センターの HP で情報公開を行い、継続的被害は山形県森林クラウドに掲載している。今年度確認された被害については、被害の継続・拡大の可能性もあることから、次年度以降も林業普及指導員や森林保護担当職員、関係機関と連携して調査を継続し、必要に応じて適切に情報提供していく。

[具体的なデータ]

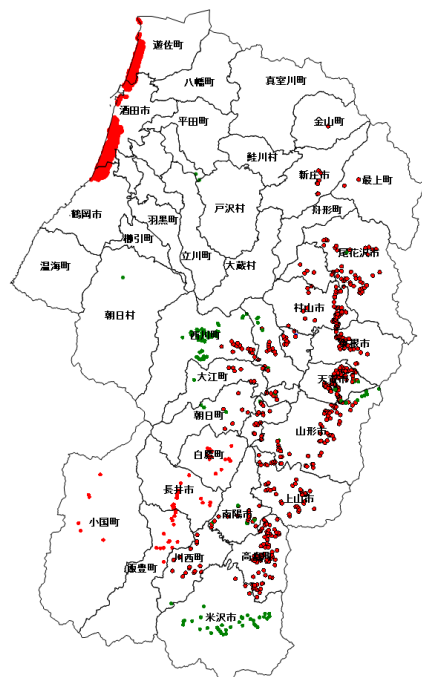
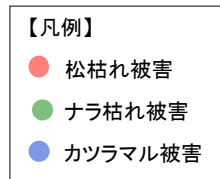


図1 山形県の継続被害状況（森林クラウド：R5）

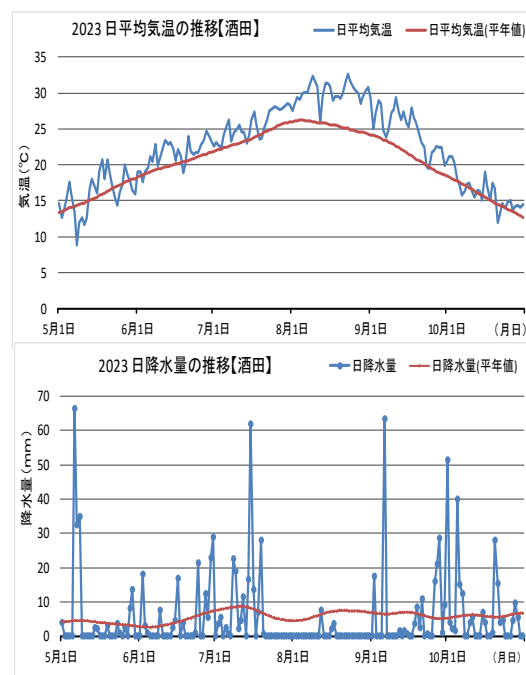


図2 R5 酒田市気象データ(5.1～10.31)

表1 山形県における不定期に発生した加害昆虫別の被害発生状況数

目	種	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
コウチュウ目	ウエツキブナハムシ	9	13	19	19	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンノキハムシ	11	17	21	24	27	27	27	27	26	27	25	5	0	8	11
	アカアシノミゾウムシ	3	2	3	5	5	11	9	3	4	4	8	3	0	13	8
	ヤノナミガタチビタマシ	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	トドマツノキクイムシ	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	0	0	0	0
	イタヤハムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	12	0	0	0	0
	クルミハムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	エノキノミゾウムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
	カシウノミゾウムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	6	2
	ケヤキフシアブラムシ	0	28	30	20	0	0	0	22	15	6	4	4	0	0	2
カメムシ目	マツモグリカイガラムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	カシニセタマカイガラムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	チョウ目	23	0	0	0	0	28	28	0	0	0	0	0	2	10	7
	マイマイガ	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハチ目	ヤマユグ	0	23	5	0	0	0	0	26	18	0	0	0	0	0	3
	クスサン	0	28	30	27	27	23	16	16	21	24	12	0	0	0	11
	アメリカシロヒトリ	0	0	0	0	3	3	2	2	3	2	3	0	0	1	0
	マツカレハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	トウヒツツリヒメハマキ	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	スガの一種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ハチ目	マツノシンマダラメイガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	キアシドクガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	クリタマバチ	0	0	0	0	0	0	0	0	23	26	29	12	0	4	16

※数値は発生が確認された市町村



クリタマバチ



ハンノキハムシ



アメリカシロヒトリ

写真1 令和5年度に発生した主な害虫

[その他]

研究課題名：急激な被害をもたらす森林病虫獣害の調査

予算区分：国庫（林業普及情報活動システム化事業）

研究期間：令和5年度（令和元～5年度）

研究担当者：渡邊潔、高野雄太、今田貴裕、高橋文、鈴木貴雄、佐藤聖子

発表論文等：